

09/977-318

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-333046

(43)Date of publication of application : 02.12.1994

(51)Int.Cl.

G06F 15/70

G06F 15/62

(21)Application number : 05-139425

(71)Applicant : NIPPON AVIONICS CO LTD

(22)Date of filing : 18.05.1993

(72)Inventor : YAMAGUCHI TAKAHISA

(54) IMAGE FEATURE VALUE EXTRACTING DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To extract a fixed feature value even through the information on the image data to be processed is unknown by calculating the accumulation value of the DCT coefficients for all image data and then extracting the feature value of a photographing subject based on the calculated accumulation value.

CONSTITUTION: A processing data producing part 3 stores in sequence the image data given from an A/D converter 2 in the scanning order and also outputs the unit image data consisting of (8×8) picture elements which are suitable to the DCT processing. A DCT processor 4 produces a DCT coefficient that consists of a single DCT coefficient showing the mean value and 63 AC coefficient showing the frequency components. Each AC coefficient shows the value corresponding to the changing state of the image data and therefore an AC totalizer 5 calculates the accumulation value of AC coefficients of a single screen. A feature value computing element 6 detects the largest accumulation value based on the difference of the accumulation value of AC coefficients and extracts the coordinates including the largest accumulation value as the position of a photographing subject (target).



BEST AVAILABLE COPY

This Page Blank (uspto)

DIALOG(R)File 345:Inpadoc/Fam.& Legal Stat
(c) 2003 EPO. All rts. reserv.

12142437

Basic Patent (No,Kind,Date): JP 6333046 A2 941202 <No. of Patents: 001>

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applic No	Kind	Date
JP 6333046	A2	941202	JP 93139425	A	930518 (BASIC)

Priority Data (No,Kind,Date):

JP 93139425 A 930518

PATENT FAMILY:

JAPAN (JP)

Patent (No,Kind,Date): JP 6333046 A2 941202

IMAGE FEATURE VALUE EXTRACTING DEVICE (English)

Patent Assignee: NIPPON AVIONICS CO LTD

Author (Inventor): YAMAGUCHI TAKAHISA

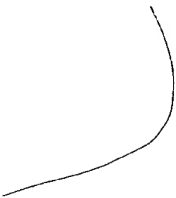
Priority (No,Kind,Date): JP 93139425 A 930518

Applic (No,Kind,Date): JP 93139425 A 930518

IPC: * G06F-015/70; G06F-015/62

Language of Document: Japanese

This Page Blank (uspto)



09/977.318

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-333046

(43) 公開日 平成6年(1994)12月2日

(51) Int. Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 15/70	3 5 0 B	8837-5L		
15/62	3 8 0	9287-5L		

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 4 頁)

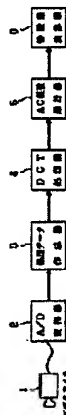
(21) 出願番号	特願平5-139425	(71) 出願人	000227838 日本アビオニクス株式会社 東京都港区西新橋三丁目20番1号
(22) 出願日	平成5年(1993)5月18日	(72) 発明者	山口 興久 東京都港区西新橋一丁目15番1号 日本アビオニクス株式会社内
		(74) 代理人	弁理士 八幡 敏博

(54) 【発明の名称】 画像の特徴量抽出装置

(57) 【要約】

【目的】 対象画像データの情報が不知でも特徴抽出が行える。

【構成】 処理データ作成器3は、A/D変換器2が定置の順序に従って出力する画像データを送り格納すると共に、DCT処理に通した8×8の画素からなる単位画像データを出力する。DCT処理器4は、平均値を示す1つのDCT係数と周波数成分を示す63個のAC係数からなるDCT係数を生成する。AC係数は画像データの变化状態に対応した値を示すので、AC係数累加器5で1画面における各AC係数の累積値をそれぞれ求める。特徴量演算器6は、各AC係数の累積値の大小関係から1番値が大きい累積値を検出し、その累積値の存する座標値を画像対象(目標)の位置として抽出する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 カメラが取得した画像信号を走査の順序に従ってデジタル化して画像データへ変換する回路と； 前記画像データを逐一格納すると共に、離散コサイン変換（DCT: discrete cosine transform）処理に適した形式の単位画像データを用いて出力する回路と； 前記単位画像データについて DCT 処理をし DCT 係数を出力する回路と； 前記 DCT 係数の累積値を求める回路と； 前記累積値から特徴量を演算する回路と； を備えたことを特徴とする画像の特徴量抽出装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、画像の特徴量抽出装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の特徴量抽出装置は、例えば、図 3 に示すように構成される。図 3 において、ビデオ・カメラ 1 が取得した画像信号を A/D 変換器 2 にて走査の順序に従ってデジタル化し、それを画像データとしてフレームメモリ 3 に逐一格納する。

【0003】 次に、2 値化処理器 4 がフレームメモリ 3 から画像データを順次読み出して 2 値化する。即ち、2 値化処理器 4 では、閾値を例えば 1 つ設定し、画像データの値（画素値）がその閾値以上なら“1”、以下なら“0”とする。また、閾値を 2 つ設定する場合には、画素値が 2 つの閾値の間の値なら“1”、以外なら“0”とする。

【0004】 例えば、画像信号が飛行中の航空機を含む場合、閾値を航空機の画像データと背景部分の画像データとの間の値に合わせて設定すれば、フレームメモリ 3 から読み出した画像データが、航空機の画像データであれば“1”、背景の画像データであれば“0”というように 2 値化データが得られる。

【0005】 特徴量演算器 5 は、入力される 2 値化データから検出目標（前記例で言えば航空機）を抽出し、特徴量（例えば航空機の位置等）を演算する。即ち、画面内に存在する目標の位置を検出する。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、従来の特徴量抽出装置では、画像データを 2 値化するための閾値を設定する必要があるが、この閾値は最適な値に設定することが要求される。つまり、先の航空機の例で言えば、閾値を航空機と背景（空）との間に設定しなければならない。

【0007】 このように従来の装置では、2 値化処理のために処理対象となる画像データの情報が前記に必要であるという問題がある。

【0008】 本発明は、このような従来の問題に鑑みながら、その目的は、処理対象となる画像データの情報が未知であってもその画像データから一定の特徴

量抽出を可能にする画像の特徴量抽出装置を提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】 前記目的を達成するため、本発明の画像の特徴量抽出装置は次の如き構成を有する。即ち、本発明の画像の特徴量抽出装置は、カメラが取得した画像信号を走査の順序に従ってデジタル化して画像データへ変換する回路と； 前記画像データを逐一格納すると共に、離散コサイン変換（DCT: discrete cosine transform）処理に適した形式の単位画像データを順次出力する回路と； 前記単位画像データについて DCT 処理をし DCT 係数を出力する回路と； 前記 DCT 係数の累積値を求める回路と； 前記累積値から特徴量を演算する回路と； を備えたことを特徴とするものである。

【0010】

【作用】 次に、本発明の画像の特徴量抽出装置の作用を説明する。周知のように、DCT 処理は、通常 8×8 の画素からなる画像データを処理単位として画像の輝度データを周波数成分で表現する処理であり、得られる DCT 係数は、画像の平均値を示す 1 つの DC 係数と周波数成分を示す 63 個の AC 係数とからなり、AC 係数は、輝度の変化に対応した値となる。

【0011】 そこで、本発明では、DCT 処理により単位画像データ毎に DCT 係数を得、全ての画像データについての DCT 係数の累積値を求め、その累積値の大小関係から検出対象の画面内での位置等の特徴量を抽出する。

【0012】 従って、処理対象となる画像データの情報が未知であってもその画像データから一定の特徴量抽出を可能にする画像の特徴量抽出装置を提供できる。

【0013】

【実施例】 以下、本発明の実施例を図面を参照して説明する。図 1 は、本発明の一実施例に係る画像の特徴量抽出装置を示す。本装置は、A/D 変換器 2 と、処理データ作成器 3 と、DCT 処理器 4 と、AC 係数累算器 5 と、特徴量演算器 6 とを基本的に備える。

【0014】 A/D 変換器 2 は、ビデオ・カメラ 1 が取得した画像信号を走査の順序に従ってデジタル化して画像データへ変換する。

【0015】 処理データ作成器 3 は、メモリと、このメモリに対する書き込みと読み出しの制御回路とで基本的に構成される。メモリは A/D 変換器 2 の出力たる画像データを送一格納するもので、制御回路は、DCT (discrete cosine transform) 処理に適した形式の単位画像データを読み出して DCT 処理器 4 に与える。

【0016】 具体的には、DCT 処理は、通常、8 画素 \times 8 画素を単位として行うので、制御回路は、8 個の走査線に係る 8 個の画素、つまり 8×8 個の画素からなる単位画像データ（図 2 (a)）をメモリから順次読み出

すことになる。

【0017】従って、メモリは、従来のように1画面分の画像データを格納するフレームメモリでも良いが、少なくとも複数本の記憶域分の画像データを格納できるものであれば良い。なお、上記処理を行う専用ICが市販されているので、それを利用しても良い。

【0018】DCT処理器4では、単位画像データ(図2(a))についてDCT処理を施しDCT係数(図2(b))を生成する。図2(b)において、8画素×8画素(計64画素)の画像データから生成されたDCT係数は、左上隅の1つのDCT係数と、残り63個のAC係数とからなる。DCT係数は画像の平均値を示し、AC係数は当該単位画像データの周波数成分を示す。そして、このAC係数のうち左上隅のものは低周波成分を示し、右下隅のものは高周波成分を示す。

【0019】ここに、AC係数は、画像データの变化状態に対応した値を示す。具体的には画像データが一樣で変化がない部分では非常に小さな値であるが、画像データに変化がある場合はそれに対応して大きな値となって現れる。

【0020】そこで、AC係数算出器5では、各DCT処理結果における63個のAC係数それぞれについて1画面分の累積値(総和値の総和)を求める。各累積値は画像データの变化状態を示すことになる。

【0021】特数量演算器6では、1画面における累積値の大小関係から画像データの变化を調べ、撮像対象の特数量を抽出する。

【0022】例えば、静記類監視の例で言えば、背景(背景)の部分の画像データは一樣で変化が少ないので、AC係数の累積値は小さい値である。これに対し航空機の部分の画像データは変化が激しいので、AC係数の累積値は大きな値となる。

【0023】従って、特数量演算器6では、AC係数の累積値の大小関係を比較して1番大きな値の累積値を抽出すれば、それは目標たる航空機を抽出できたことになり、その値の1番大きな累積値の存する座標から目標の位置が求められる。

【0024】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の画像の特数量抽出装置は、DCT処理で得られるDCT係数が画像データの变化に対応する値を示す点に着目し、DCT処理により単位画像データ毎にDCT係数を得、全ての画像データについてのDCT係数の累積値を求め、その累積値の大小関係から撮像対象の画面内での位置等の特数量を抽出するようにしたので、処理対象となる画像データの情報が未知であってもその画像データから一定の特数量抽出を可能にする画像の特数量抽出装置を提供できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係る画像の特数量抽出装置の構成ブロック図である。

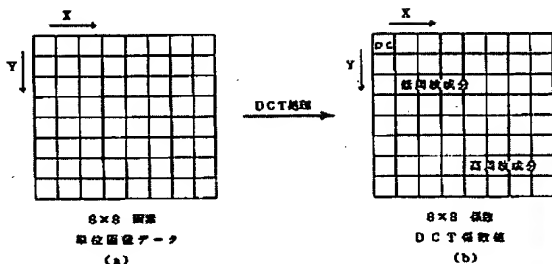
【図2】DCT処理の説明図であり、(a)はDCT処理のための単位画像データの構成図、(b)はDCT処理で生成されるDCT係数の説明図である。

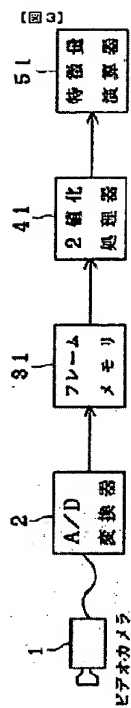
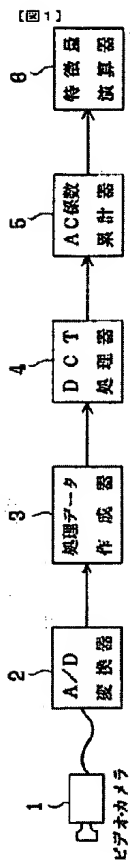
【図3】従来の画像の特数量抽出装置の構成ブロック図である。

【符号の説明】

- 1 ビデオ・カメラ
- 2 A/D変換器
- 3 処理データ作成器
- 4 DCT処理器
- 5 AC係数算出器
- 6 特数量演算器

【図2】





**This Page Is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE (S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)